

「2017年度 著書出版・海外学会等 参加助成」および 「第7回Nextcom論文賞」受賞者

2017年度 著書出版助成 受賞者 (五十音順) 助成金：各200万円

本助成は、情報通信に関する社会科学分野の学術出版を助成し、優れた研究成果の公的な流通を支援するものです。受賞者は、Nextcom監修委員会の推薦に基づき、公益財団法人KDDI財団が決定しています。2017年度は、助成金（各200万円）を受けられる方が以下のように決定し、2018年2月7日に決定通知書が交付されました。

中谷 和弘 氏 (なかたに かずひろ) 東京大学 大学院 法学政治学研究科 教授

書名 『サイバー攻撃の国際法：タリン・マニュアル2.0の解説』（仮題）

概要 本著は、申請者がエストニアのNATOサイバー防衛センターにおいて法律専門家の一員として検討会議に出席し、その制作に携わった「サイバー行動に適用される国際法に関するタリン・マニュアル2.0」の解説本である。英語原本は約600頁の大部なものであるが、その要点を200頁程度で分かりやすく説明するものである。

発行：信山社 出版予定：2019年3月31日



米谷 南海 氏 (よねたに なみ) 一般財団法人 マルチメディア振興センター 情報通信研究部 研究員

書名 『東アジアのケーブルテレビ——発展過程と社会的役割——』（仮題）

概要 本著は、「ケーブルテレビは地域メディアなのか」という疑問を出発点に、日本ではなぜケーブルテレビが地域メディアであるという認識が生まれたのかを、政府企業間関係論の観点から国際比較分析を行うことで明らかにするものである。

発行：中央経済社 出版予定：2019年3月31日



2017年度 海外学会等参加助成 受賞者 (助成決定順)

海外で開催される情報通信に関わる国際会議、シンポジウムなどに参加する方を主な対象に、渡航費用などを助成するものです。受賞者はNextcom監修委員会の推薦に基づき、公益財団法人KDDI財団が決定しています。2017年度の受賞者は、以下の6名の方が決定し、2018年2月7日に決定通知書が交付されました。

● 谷口 晋一 氏
(たにぐち しんいち)

早稲田大学 大学院
アジア太平洋研究科 博士後期課程
対象学会：25th Pacific Conference of
the RSAI (PRSCO 2017大会)
(2017年5月17日～20日 台湾)



● 田中 絵麻 氏
(たなか えま)

早稲田大学 総合研究機構
デジタル・ソサエティ研究所 招聘研究員
対象学会：28th European
Conference of the International
Telecommunications Society (ITS)
(2017年7月30日～8月2日 ドイツ)



● ユディ アディ プルナマ 氏
(Yudi Adhi Purnama)

早稲田大学 大学院
アジア太平洋研究科 博士後期課程
対象学会：28th European
Conference of the International
Telecommunications Society (ITS)
(2017年7月30日～8月2日 ドイツ)



● 上田 昌史 氏
(うえだ まさし)

京都産業大学 経済学部 助教
対象学会：The 4th Multidisciplinary
International Social Networks
Conference (MISNC 2017)
(2017年7月17日～19日 タイ)



● 瀧澤 和子 氏
(たきざわ かずこ)

早稲田大学 商学大学院 招聘研究員
対象学会：Sharing is Caring:
Digitisation and social impact?
(2017年11月19日～21日 デンマーク)



● 張 唯瑜 氏
(Weiyu ZHANG)

北海道大学 大学院 法学研究科
博士後期課程
対象学会：Intellectual Property in
Big Data Era : Opportunities and
Challenges
(2017年12月9日～11日 中国)



第7回 Nextcom 論文賞 受賞者 副賞：30万円

Nextcom論文賞は、若手研究者の方々を奨励するために設けられています。第7回の受賞者は、2016年12月のWinter号 (Vol.28) から2017年Autumn号 (Vol.31) までの1年間に、本誌に掲載された、45歳以下の著者による論文を対象に、Nextcom監修委員会が選考・決定しました。受賞者には、2018年2月7日、株式会社KDDI 総合研究所から表彰状 (Nextcom論文賞) と副賞 (30万円) が授与されました。

寺田 麻佑 氏 (てらだ まゆ) 国際基督教大学 大学院 アーツ・サイエンス研究科 准教授

受賞論文 「ネットワーク中立性規制の現状と課題について——EUにおける新規則と日本への示唆——」
(Nextcom Vol.29, pp14-23 掲載)

概要 近年、動画投稿サイトをはじめとして、映像などを含めた大容量コンテンツの消費がインターネット上で頻繁に行われている。また、スマートフォンの普及などにより、動画の視聴回数なども増加し、ネットワーク上のトラフィックの負担の在り方や、その規制をどのように考えるべきなのかという問題が生じてきている。そのため、「インターネットを公平に、差別なく利用できること」という概念を中心として、ネットワーク中立性についての議論が、あらためて進められている。本稿においては、まず、日本におけるネットワーク中立性に関する議論の状況をみた上で、欧州において制定された規則と、BERECによるガイドラインの現状をみることによって、日本への示唆を検討する。

